

動物意識の大阪国際会議

Animal Consciousness Conference in Osaka

動物意識の専門家が世界から集まる

日時：2025年10月21日（火）10:00～ / 22日（水）9:00～

場所：大阪公立大学（杉本）学術情報センター10F 大会議室



動物には「こころ」がある！

「動物の捉え方」が変わる！

科学が変わる！

自己意識はどんな動物にあり、どのように進化して来たのだろうか？
これは今まさに議論の渦中にあるテーマである。
最先端の研究者が集い、この重要な課題に挑戦する。

参加申し込みは右のQRコードから
参加費：無料
参加申込〆切：10/6（月）



交流会（キャンパス内）
10/21：18:30-20:30
会場：メタセコイア
一般 5000円 学生 2500円

【問合せ先】幸田正典 / 安房田智司 ☎ 06-6605-2607 ✉ sa-awata@omu.ac.jp

主催：学術変革領域研究B「認知進化生態学」代表：高橋宏司

<https://cognitive-evolutionary-ecology.com/>

会議の目的

近年、動物福祉やAI研究において「意識」は重要な議題ですが、同時に広範な学問分野でも未解決の大問題です。その現状は「意識」の定義すら研究者の間で未確定であり、これが議論の著しい混乱を引き起こしています。そこで、本会議では国内外の動物の意識についての第一線の哲学者・行動生態学者・認知科学者・神経生理学者らを招き、「意識」と「認知・知性」と呼ばれるものの関係性を整理することで、「意識」の定義や研究方法、その起源や進化について討論し、最終的に「意識」の定義に関するコンセンサスをとることを目標としています。分野横断的に「意識の定義に迫る」という点で、世界的にも画期的な意識の会議になると期待しています。

発表者

10/21（火）

Heather Browning（University of Southampton, UK）

安房田 智司（大阪公立大学）

土畑 重人（東京大学）

大崎 遥花（兵庫県立人と自然の博物館）

Zegni Triki（University of Neuchâtel, Switzerland）

Redouan Bshary（University of Neuchâtel, Switzerland）

Will Sowersby（Arthur Rylah Institute for Environmental Research, Australia）

十川 俊平（大阪公立大学）

阿形 清和（基礎生物学研究所・京都大学名誉教授）

10/22（水）

木下 充代（総合研究大学院大学）

Martin Giurfa（Sorbonne University, France）

Wen Sung Chung（The University of Queensland, Australia）

Walter Veit（University of Reading, UK）

鈴木 大地（筑波大学）

Eva Jablonka（Tel Aviv University, Israel）

Bjorn Merker（Independent researcher, Sweden）

幸田 正典（大阪公立大学）

動物意識の大阪国際会議 (Animal Consciousness Conference in Osaka) のお知らせ

幸田正典・安房田智司 (大阪公立大学)

【日程】

10月21日(火) 10時～18時30分

10月22日(水) 9時～18時

【会場】

大阪公立大学 杉本キャンパス 学術情報センター10F 大会議室 (150 席)
オンラインも用意します。

【懇親会】

10月21日(火) 18時30分～20時30分

大阪公立大学 杉本キャンパス「メタセコイア」

一般 5000 円 / 学生 2500 円

【参加申込フォーム】

<https://x.gd/MGdwB>

本国際会議は無料でご参加いただけます。

動物の意識/認知/知性に関するポスター発表を募集しています (先着 15 題)

参加・発表申し込み締め切り: 10月6日(月)

【注意点】

宿泊が必要な方はご自身で予約をお願いします。

10月22日(水) のみの参加は不可となります。

オンライン参加を希望された方には、後日リンクを送付します。

ポスター発表は先着順で 15 題までです。

ポスターは英語発表、A0 サイズ、動物の意識・認知・知性に関する内容をお願いします。

10月21日(火) の 9:45 までに貼り付けをお願いします。

ポスター貼り付けのピン等はこちらで用意します。

懇親会の会費は当日会場でお支払いください。

【問い合わせ】

小林大雅 labroides7dimidiatus13@gmail.com

We are pleased to announce that the Animal Consciousness Conference will be held on Oct 21 and 22 2025 at Osaka Metropolitan University. Researchers from Japan and abroad will be invited to give presentations and engage in discussions on animal consciousness, cognition, and intelligence. We are now accepting applications for poster presenters and participants. Poster presentations are limited to the first 15 applicants. Participants who require accommodation are kindly asked to arrange their own reservations. The deadline for conference registration and presentation applications is Oct 6.

会議の目的

近年、動物福祉や AI 研究の分野において「意識」は重要な議題となっていますが、「意識」は広範な学問分野で未解決の大問題です。その理由の一つに「意識」の定義すら分野間や研究者間で異なるという現状があり、これが議論の著しい混乱を引き起こしています。そこで、大阪国際会議では国内外の動物意識に関する第一線の哲学者・行動生態学者・認知科学者・神経生理学者らを招き、「意識」と「認知・知性」と呼ばれるものの関係性を整理することで、様々な動物における「意識」の定義や研究方法、その起源や進化について議論し、最終的には「意識」の定義に関するコンセンサスをとることを目標としています。本会議は専門分野を横断して「意識の定義に迫る」という点で、世界的にも画期的な国際会議となることが期待されます。

プログラム

10 月 21 日 (火)

- * 10:00 安房田 智司: Opening address
 - * 10:10 幸田 正典: Making a consensus of definition of consciousness
 - 1 10:30-11:10 **Heather Browning** (University of Southampton, UK)
Animal consciousness and welfare
 - 2 11:10-11:45 **安房田 智司** (大阪公立大学)
Cognitive ability and consciousness in symbiotic fish and shrimp
Coffee break (15 分)
 - 3 12:00-12:35 **土畑 重人** (東京大学)
Individuality of/in the superorganism: insights from ants
 - 4 12:35-13:00 **大崎 遥花** (兵庫県立人と自然の博物館)
Beyond instinct: Building society through mate discrimination in monogamous cockroaches
13:10 – 15:00 昼食・ポスター発表
 - 5 15:00-15:40 **Zegni Triki** (University of Neuchâtel, Switzerland)
The fish challenge to vertebrate cognitive evolution
 - 6 15:40-16:20 **Redouan Bshary** (University of Neuchâtel, Switzerland)
The tops and flops of cleaner fish *Labroides dimidiatus* cognitive performances
 - 7 16:20-17:00 **Will Sowersby** (Arthur Rylah Institute for Environmental Research, Australia)
Sleep: a suspended state of consciousness and a universal feature of animal life
Coffee break (10 分)
 - 8 17:10-17:45 **十川俊平** (大阪公立大学)
The relationship between consciousness and self-recognition
 - 9 17:45-18:20 **阿形 清和** (基礎生物学研究所・京都大学名誉教授)
"When did basal cognition begin: Before or after the brain?"
--Insights from planarian brain regeneration
 - 18:30-20:30 交流会 (会場: メタセコイア)
-

10 月 22 日 (水)

- 10 9:00-9:35 **木下 充代** (総合研究大学院大学)
Color association in swallowtail butterflies
– from innate preference to learning and memory –
- 11 9:35-10:15 **Martin Giurfa** (Sorbonne University, France)
Exploring dimensions of cognition in miniature brains:
from concepts, numbers and awareness in honey bees
- 12 10:15-10:55 **Wen Sung Chung** (The University of Queensland, Australia)
Inside out: How sexual dimorphism and neural plasticity shape the brain and
behaviour in cephalopods
- Coffee break* (15 分)
- 13 11:10-11:50 **Walter Veit** (University of Reading, UK)
Studying consciousness across the animal kingdom
- 14 11:50-12:25 **鈴木 大地** (筑波大学)
A common framework for animal consciousness research and its application to the
jawless fishes
- 12:25-14:30 昼食・ポスター発表
- 15 14:30-15:10 **Eva Jablonka** (Tel Aviv University, Israel)
Why is it so difficult to define consciousness?
- 16 15:10-15:50 **Bjorn Merker** (Independent researcher, Sweden)
The constitutive crux of consciousness
- 17 15:50-16:30 **幸田 正典** (大阪公立大学)
Distinction between consciousness and “what consciousness does”
- Coffee break* (15 分)
- 16:45-18:00 総合討論
-